

令和6年度第1回常任理事会報告

2024(令和6)年7月19日(金)14時 本協会会議室 参加15名

(1) 会長挨拶と報告

⇒今年度第一回の理事会であること、理事の皆様へご協力をお願い、本日の内容について

(2) 事務局からの報告

- ⇒1. 逝去された方の報告→会員から大会の意向を伝えられるが、本会には「退会がない」ことを伝えている。
2. 現役校長会の動向→都立高の事故:激辛を食べて救急車呼んだ。四者協を実施:年間計画策定、予算の検討、警備員配置要望、企画室の審査委指導、給与10%問題。
3. 都教委→
4. その他→記念誌編集委員:総会内容を記載する。巻頭言を会長に依頼。

(3) 議事

1. 令和6年度事業計画について(確認を含む)

・常任理事会等の日程 ・教育庁幹部との意見交換会 ・拡大顧問会

・退職校長会記念誌(委員長:小林洋司) ・新任校長研修会 ・昇任校長研修会

⇒ 新任校長研修会の講師人数はどう決めているか→ 毎年直前まで参加者数が決まらない。昨日まで5名であり、事務局長の方で、理事等に電話依頼している、本日は5名の理事等をお願いした。

2. 特別委員会の設置について

目的:教育長(教育監等幹部含む)との意見交換会に向けた資料等の作成

委員会活動等:学校現場への訪問し校長から意見聴取、校長会の意見聴取、
教育委員会の情報収集等行い、12月末を目途に資料等を作成。

委員会名:校長支援策検討委員会、校長支援プロジェクトチーム、など

委員人数:5から6名

3. 親睦旅行会の実施について

今年度秋(11月頃)の実施、1泊2日の温泉旅行 幹事の選任等

4. 新たな事業等について ⇒ 学校訪問を実施する。

7/22 多摩高校 7/23八潮高校 参加者募るが唐突な調査のため当日の参加者は希望はなし

(4) 情報及び意見交換

今回の学校訪問実施校は、毎年定員割れの状況である。この問題は大変大きいと考えている。学校独自の対応は限界がある。都教委が考えるべき問題になっているが、柵のない退職校長会が実態を把握して、どのような支援が必要であるかを模索していく。

(5) 顧問より

平島:総会に欠席した、コロナ感染したためである。身体に痛みが出て、4日後に医者に行ったらコロナであった。

多田:存在感ある退職校長会になってほしい。教員採用、定員割れ、管理職希望の減少、などがある、背景をつかむことが重要。

柿添:総会が対面実施できて良かったと思う。藤井前教育監の講話で、中学生が40%減になる。このことは大変重要な問題である。都教委はどう考えるのか、都立高校の応募率減少は一つには、授業料無償化がある。